

第1章



板橋区ユニバーサルデザイン 推進計画 2025

- 1 目的
- 2 位置づけ
- 3 計画期間

第1章 板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025

推進計画で定めた目的、位置づけ、計画期間を整理します。

1 目的

社会・経済状況が成熟化し、多様な立場の方が社会参加できる環境も徐々に充実していく中で、物理的な豊かさだけでなく、文化・芸術、交流、スポーツ、観光などを通じて、心の豊かさを感じられる生活を求める人が増えています。年を重ねても、障がいがあっても、豊かさを求める気持ちに差はありません。

また、年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、すべての人が快適にらせるまちをつくり、さまざまな場面で社会参加ができる環境を整える必要性は高まっています。

このため、すべての人にとってくらしやすい地域社会の実現をめざすユニバーサルデザインへ考え方を発展させ、区政のさまざまな分野の取り組みに、ハード・ソフトの両面からこの考え方を取り入れて、人的介助の必要性をより少なくするとともに、だれもができるだけ、同じ場や状況のもとで、自由に行動できるまちをつくる必要があります。

さらに、区、区民、地域活動団体、事業者が、この考え方や各主体に期待される役割を共有し、全区的な取り組みとして展開していくことが求められています。

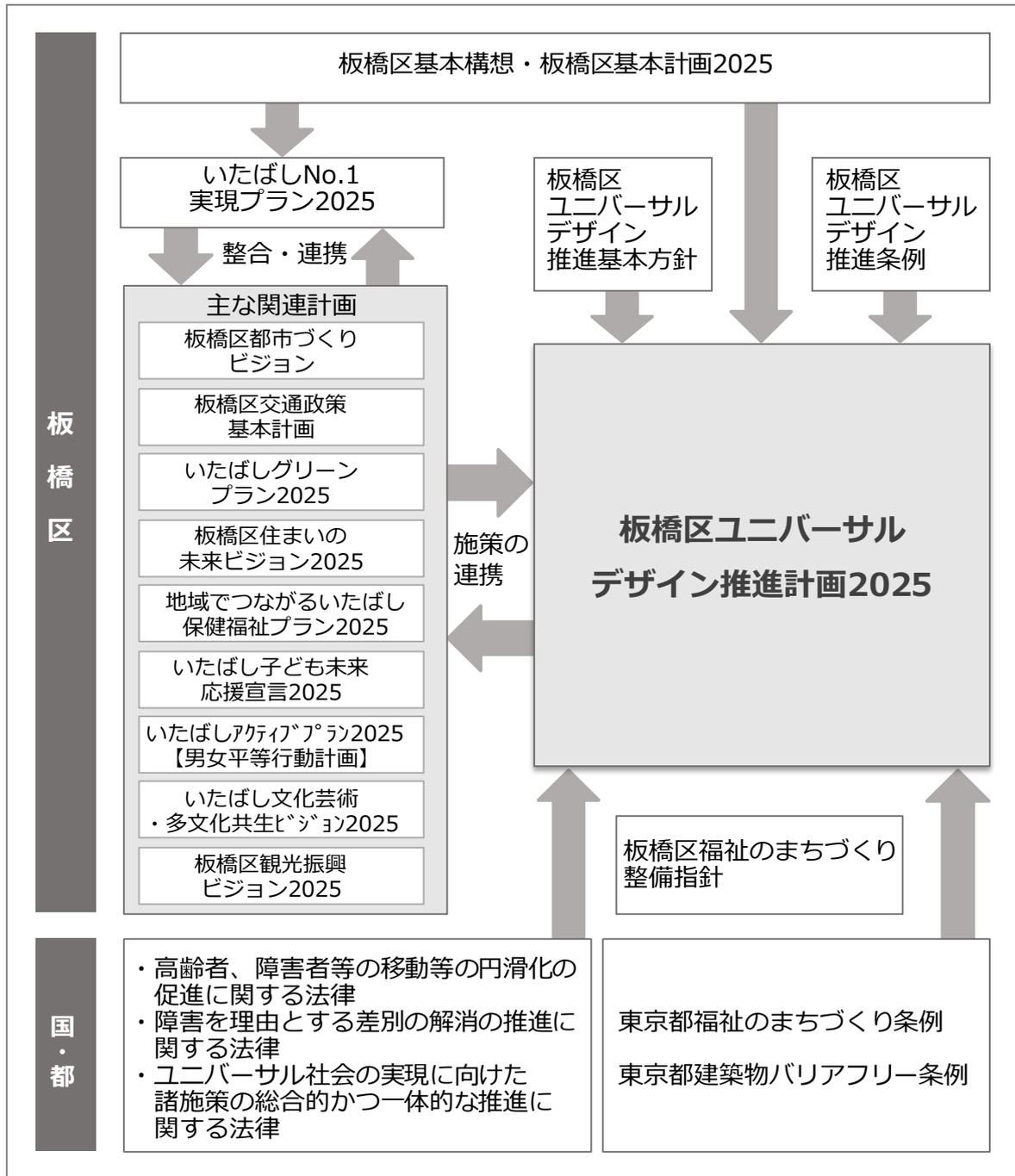
区では、このような前提に立って、平成 28（2016）年度に「板橋区ユニバーサルデザイン推進基本方針」（以下「基本方針」）を策定し、将来像や取り組みの視点などを決めました。

基本方針で定めた将来像に向け、各種事業を計画的に推進するため、平成 29（2017）年度から令和 7（2025）年度までを計画期間とする「板橋区ユニバーサルデザイン推進計画 2025」を策定し、取り組みを進めています。

2 位置づけ

推進計画は、板橋区ユニバーサルデザイン推進条例第8条を根拠とし、板橋区基本構想及び板橋区基本計画 2025 を踏まえ、各個別計画と連携を図りながら、ユニバーサルデザインに係る取り組みを体系的かつ総合的に推進していくための基本的な計画です。

【図表2】 推進計画の位置づけ



3 計画期間

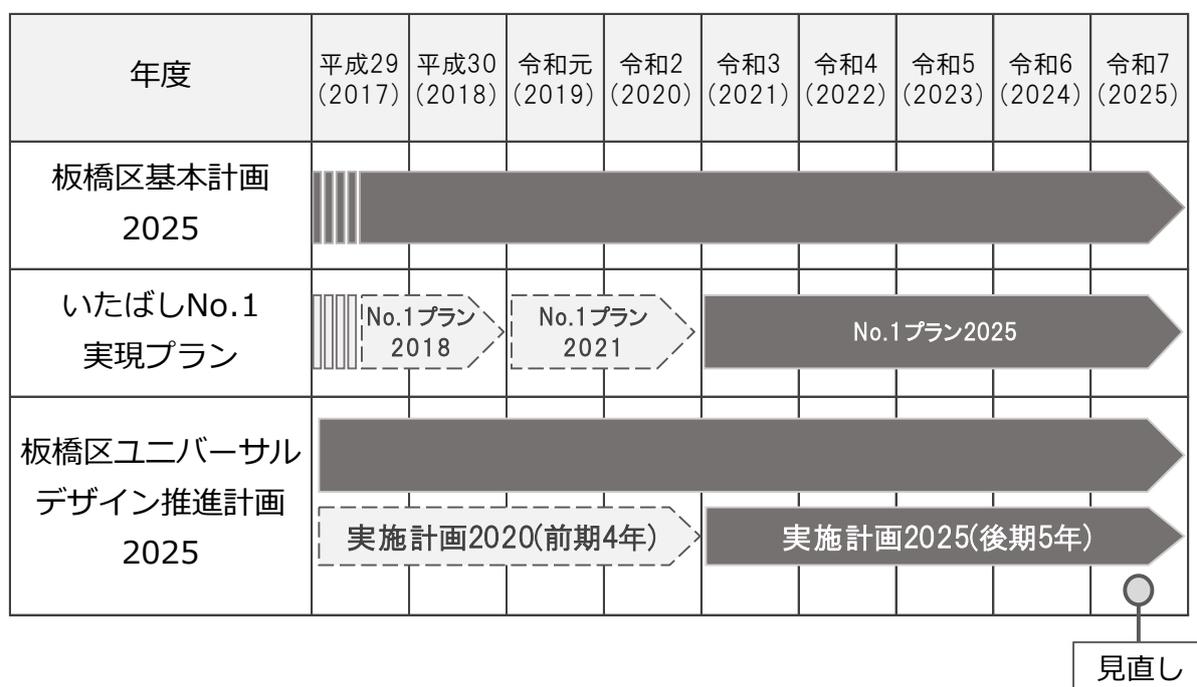
推進計画の計画期間は平成 29（2017）年度から令和 7（2025）年度までの 9 年間です。

そのうち具体的な事業計画は、令和 2（2020）年度までの前期 4 年間と、令和 7（2025）年度までの後期 5 年間の 2 期に分割されます。

後期事業計画にあたる実施計画 2025 の計画期間は、令和 3（2021）年度から令和 7（2025）年度までの 5 年間です。

なお、社会情勢の変化や関連計画との整合性を踏まえ、必要に応じて見直しを行っていきます。

【図表 3】計画期間



コラム | ユニバーサルスポーツ（ボッチャ）



ボッチャは、パラリンピック正式種目のスポーツです。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

この競技は、年齢や性別、障がいのある・なしにかかわらず、すべての人が一緒に楽しみ、競い合えるスポーツです。

板橋区では、平成 25 年度から毎年ボッチャ交流会を実施し、体験の機会を設けています。